



未来を担う子供たちに「木のぬくもり」を通じた取り組みを継承する事で世界中

が幸せになる。そう願う日々実践していき

ます。
私は『木』に関わる仕事をしています。その『木』は地球上唯一の循環資源と言われます。再生可能な天然素材である木材の特性を最大限活かし、木のぬくもりを形にしています。『木』は有形無形に姿を変え、自然と暮らしを循環します。伐期(はきき)と言われる適時に木材を伐採し、植林をする事で山の生態系を守り、山そのものが豪雨などの天災に強くなり、私たちの暮らしを守ってくれます。

『木』は同時に海の豊かさを守る一役に。

木のぬくもりを通じ未来へ

山大 高橋拓宏さん

木の手入れを定期的に行い山の地面に陽をあてることで、落ち葉や枝などが養分になり、蓄えられます。やがて大海に流れ貝や魚を育みます。共に陸の豊かさを守り、食・住を通じ私たちを笑顔にします。

『木』は住み続けられる街づくりにも、笑顔あふれる社会に貢献します。私たちが創る建築は街に木を植え森をつくることと同じ意味をもちます。木材に含まれる炭素は光合成により大気中の二酸化炭素を取り込んだこと由来。大気中の二酸化炭素を固定化する。使った木材分をまた植林し、山に街に『木』を循環させ続けます。『木』を通して、ぬくもりと笑顔あふれる社会に、世界に...地球の未来に貢献していきます。



わたしのSDGs活動宣言

こんな活動につながっています!

未来を担う子供たちに「木のぬくもり」を。今年3月に石巻市立飯野川小学校卒業制作のお手伝いで地域材を使用した杉材の机天板を納め、次の世代が使う机の天板交換をしました。



今日より、ちょっといい、明日へ。
Jump!

あすなろ学院とつながりを持つことで、「ミライ思考」という教育プログラムに参加し、子どもたちにエシカル消費を伝える「チョコカルshow」を実施しました。



「私たちが今、できること。」このフレーズをよく耳にしませんか?

みやぎSDGs塾では、企業や団体の方々の取り組みを聞き、学生の行動力を生かして行ってきた自身の活動を共有しました。

例えば、ゼミの活動では、SDGsの中でも消費行動についての問題を取り上げて研究しています。昨年6月・9月には、仙台のアーケード内で行ったSDGsのイベントに参加し、ポスター展示のワークショップを行いました。話を聞いてくださった方々が、普段生活で使用する物や購入する商品選びの意識改革につながっていただければと願っています。

今すぐに「できること」ありますよ!

尚絅学院大学(2023年度卒) 中川蓮さん

講演会・書籍・新聞・ネットの情報記事から、企業や団体の方々の取り組みを知り、理解し、多くの人々に発信する。それを見てください。方々には、取り組みを知り、理解し、さらには行動に移してもらおう。ここまでつながりを生み出すことが私の今後の目標です。

そこで、この宣言文を読んでもらった方へのお願いです。ぜひ学生、企業や団体の方々の発信を受け取ってください。このような新聞記事の一部や、街中での催し物で足を止めて話を聞いていただけると、とてもうれしいです。まずは、知るところから、目標に向けた第一歩を始めてみませんか!



SDGs(持続可能な開発目標)を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指すプロジェクトです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。

賛同企業 募集中!!



[申し込み・問い合わせ] 河北新報社営業部 TEL / 022-211-1318 MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

